

きんもくせい



「静岡県養護教諭研究会」に思いを馳せて

静岡県養護教諭研究会 副会長 池ヶ谷正子

もう、かれこれ12年も前のことですが、本研究会の役員としてお世話になったことがあります。そして、今年度から、再び縁あって本研究会の役員を務めさせていただいています。

12年前の私は、まだ若かったこともあります。身の丈に合わない仕事にとまどいながらも、県下の実力ある素敵な先生方との出会いの中で、様々なことを勉強させていただいたことが昨日のことのように思い出します。

12年前と今、変わったことはといえば、まずは自分が歳をとったことはもちろんではありますが、役員や地区理事との連絡や書類等の提出がメール配信となり、連絡調整がスムーズに行えるようになったことでしょうか。また、変わらないことはといえば、本研究会が、全養連、校長会、学校保健会、教育委員会との連携を保ち、県下の養護教諭の資質向上を目指して活動している素晴らしい組織であるということです。

皆さんも御存知の通り、来年度から政令指定都市への権限移譲が行われます。私の所属する静岡市でも今後の動向が見えない中ではありますが、本研究会組織との在り方について検討をしていかなければならない状況にあります。このような中、これからは、本研究会が今まで培ってきた活動を基盤としながらも、「形」とらわれない県下の養護教諭として「心」でつながっていくのかな・・・と、冬の澄みきった夜空に輝く星を眺めながら本研究会に思いを馳せました。



地区紹介

沼津地区



沼津地区は、小学校24校、中学校16校、小中一貫校1校、中等部1校、会員数42名で組織されています。平成26年度より「たくましくすこやかにしなやかに生きる子」を地区のテーマとして、「保健教育」「危機管理」「保健室経営」の3グループに分かれて研修を深めてきました。今年度開催された静教研夏季研究大会では、グループ研修の成果を発表し養護教諭の職務について個々の意識を高めることができました。

また、毎年、学校保健統計冊子「すこやか」を編集しており、沼津の子どもたちの健康実態を把握し、学校保健に役立てています。

研修会では、内容によってグループ分けを行い、和やかで温かい雰囲気で行っています。今後も、養護教諭からの発信を意識した学校保健活動を目指し、地区全体で取り組んでいきたいと思っています。



全国養護教諭連絡協議会 ～瑞星編集委員としての活動～

編集委員 大橋 五月（富士市立田子浦小学校）



私は全国の養護教諭をつなぐ研究誌「瑞星」の編集委員として、昨年度より携わらせていただいています。「瑞星」はその時代の養護教諭（学校保健）に求められることをテーマとして、実践事例を編集し活用できる冊子となるよう、瑞星担当役員2名と編集委員7名で作成しています。

昨年の9月から、編集テーマの決定、企画内容の検討、編集担当分担や原稿の依頼、校正などの編集作業を行い、先月の第10回編集会議を以て、来年1月に発刊できる運びになりました。今回、第10号の発刊を記念し、今までのあゆみも掲載されています。また、表紙は本校の職員に、「子どもたちにとって温かい保健室」をイメージして描いていただいたものです。ぜひ、御一読いただけたらと思います。

内容については、平成26年度養護教諭の職務に関する実態調査を踏まえて「養護教諭のコーディネーターとしての役割とは」をテーマとして、全国の養護教諭が執筆した22編の実践事例集となっています。何より明日からの執務に直ぐに活かしていける内容であることが魅力です。また、研究協議会や夏の研修会の記録なども非常に参考になると思います。

こうして編集に携わっていく中で、各地区の様子を伺ったり職務のことなどを相談したりすることも多くありました。そこでは、編集委員の先生方と冊子の作成を通して交流ができ、自分自身の視野が広がったと感じています。このような出会いをいただき感謝しています。ありがとうございました。

小・中・高校交流学習会

平成28年8月23日（火）会場：静岡県教育会館

静岡県高等学校養護教育研究会役員、本研究会役員、会誌「たちばな」編集委員、代表理事が参加して小・中・高校交流学習会が行われました。午前中は「不登校防止を目指したピアサポート」と題して浜松江之島高等学校教諭 山口権治先生に御講演いただきました。午後は、「保健室からの発信～ピアサポート『心の土台』づくり～」と題して、藤枝市立藤枝中学校養護教諭 増田みちよ先生に御講話をしていただきました。その後、地区ごとグループに分かれて、午前の講演のピアサポートに関する内容や、健康診断、アレルギー対策等の情報交換を行いました。また、校種によって話題になっていることの問題点を出し合い、相互理解を図りました。



詳しい内容につきましては、今月発行の「たちばな 59号」に掲載されておりますので是非ご覧ください。

